

平成 28 年度

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム)
研究事業

研究開発提案書

研究開発提案課題名 (公募課題番号)	△△△△の創出を目指した研究 (①一般・②若手) ※いずれかを○で囲む
代表機関名	○○○○大学
研究開発提案者	○△ ○□

(様式1)

平成28年度日本医療研究開発機構
再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム) 研究事業
研究開発提案書

平成 28 年 XX 月 XX 日

住 所 〒 XXX-XXXX ○○県□□市……………

フリガナ

研究開発提案者 氏 名 ○△ ○□

生年月日 19 XX 年 XX 月 XX 日生

1. 研究事業名 : ○○研究事業

2. 研究開発提案課題名(公募課題番号) : △△△△の創出を目指した研究
(①一般/②若手 ※一方を○で囲む)

3. 当該年度の計画経費 : XX,XXX,XXX 円(間接経費を含む)

4. 研究開発実施予定期間 : 平成 28 年 10 月 14 日から平成 31 年 3 月 31 日までの
(3) 年計画

5. 研究開発提案者及び経理事務担当者

研究開発提案者	①所属研究機関	○○○○大学		
	②所属部局	△△△学部△△△学科		
	③職名	△△△		
	④所属研究機関所在地	〒XXX-XXXX ○○県□□市……………		
	④連絡先	Tel: XX-XXXX-XXXX Fax: XXX-XXXX E-Mail: YYY@YY.jp		
	⑤最終卒業校	○○○大学院	⑥学位	博士(△△△)
	⑦卒業年次	平成 XX 年	⑧専攻科目	○○○
経理事務担当者	(フリガナ) ⑨氏名	(マルサンカク マルカク) ○△ ○□		
	⑩連絡先・所属部局・課名	〒XXX-XXXX ○○県□□市…………… Tel: XX-XXXX-XXXX Fax: XX-XXXX-XXXX E-Mail: ZZZ@YY.jp		

①COI (利益相反) 委員会の有無	有 ・ 無
②間接経費の要否	要(千円、直接経費の %) ・ 否

6. 研究組織情報

①研究者名	②分担率 研究項目				⑥研究費配分 予定額 (千円)
○△ ○□	○○関連解				XX, XXX
□□ ○○	○○モデル動物 の開発と検証	○△○△大学院 昭和 XX 年修了 △△△博士 ○○○専攻	○○○○大学 △△△学部 △△△ 学科 (○○センター)	○△△	X, XXX

・代表研究者を含めて、「13. 体制図」
 に対応するようご記入ください
 ・研究協力者については、「研究費配分予
 定額」の欄を、「0」もしくは「なし」で
 ご記入ください
 ・必要に応じて、適宜枠を広げてください

7. 政府研究開発データベース
研究者番号及びエフォート

研究者名	性別	生 年 月 日	研究者番号 (8桁)	エフォート (%)
○△ ○□	男	19XX 年 X 月 XX 日	XXXXXXXX	20
□□ ○○	女	19XX 年 X 月 XX 日	XXXXXXXX	30

8. 研究の概要

- (1) 「9. 研究の目的、必要性及び独創的・革新的な点」から「14. 倫理面への配慮」までの要旨を 1,000字以内で簡潔に記入すること。
- (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
- (3) 研究の目的、方法及び期待される効果の概念図を記入又は添付すること。

・再生医療における現状の技術的な問題点

・新規に必要とされている知見、技術、ノウハウ

・研究内容（簡潔かつ定量的に記載）

※独創性、新規性、革新性について説明してください。

※特に革新性や、幹細胞・再生医学の発展に資する国際競争力について説明してください。

※異分野連携、国際性を有する課題については、それらがどのように幹細胞・再生医学分野におけるイノベーション創出につながるかについて説明してください。

・研究終了時（平成30年度末）における達成目標（簡潔かつ定量的に記載）

・本研究成果が将来的に現状の問題点の克服にどのように貢献するか。（実現にかかる見込み年数、低コスト化であればその程度等）

（概念図）

・枠内の黒字はすべて残したままでご記入ください

・1000字以内の制限には、もともと記載されている黒字は含みません

・概念図も含めて2頁以内に収めてください。頁を増やした場合に、「9. 研究の目的、～」が続く頁の先頭にくるようにしてください

9. 研究の目的、必要性及び独創的・革新的な点

- (1) 研究の目的、必要性及び独創的・革新的な点については、適宜文献を引用しつつ、1,000字以内具体的且つ明確に記入すること。
- (2) 当該研究計画に関して現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画、公共研究及び民間研究と当該研究計画の関係を明確にすること。
- (3) 研究期間内に何をどこまで明らかにするかを明確にすること。
- (4) 当該研究の独創的・革新的な点については、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入すること。
- (5) 再生医療への応用においての問題点を提示し、それに対する解決策を提案すること。
- (6) 独創性、新規性、革新性について明確にすること。
※異分野連携、国際性を有する課題については、それらがどのように幹細胞・再生医学分野におけるイノベーション創出につながるかについて説明すること。
- (7) これまでの論文実績などを引用しながら、国際的競争力の高い優れた研究成果が期待できるかを明確にすること。

- ・ 図や表を挿入して、2～3頁にしても構いません
- ・ 頁を増やした場合に、「10. 期待される成果」が続く頁の先頭になるようにしてください

10. 期待される成果

- (1) 期待される成果については、3年間で何を達成し、それが現状の技術的な問題点の克服にどのように貢献するかを中心に600字以内で記入すること。
- (2) 当該研究によって直接得られる研究成果だけでなく、将来的に幹細胞・再生医学分野の発展及び次世代の革新的な再生医療（創薬への応用含む）の実現にどのように貢献するかについて記入すること。

1 1. 研究計画・方法

- (1) 研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を 1,600字以内 で記入すること。
- (2) 研究計画を遂行するための研究体制について、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」及び研究協力者等の具体的な役割を明確にすること。
- (3) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入すること。
- (4) 本研究を実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記入すること。

(1) (主要な研究開発項目名)

平成○年度：

・水色の文字は消して、ご記入ください

平成△年度：

平成□年度：

(2) (主要な研究開発項目名)

平成○年度：

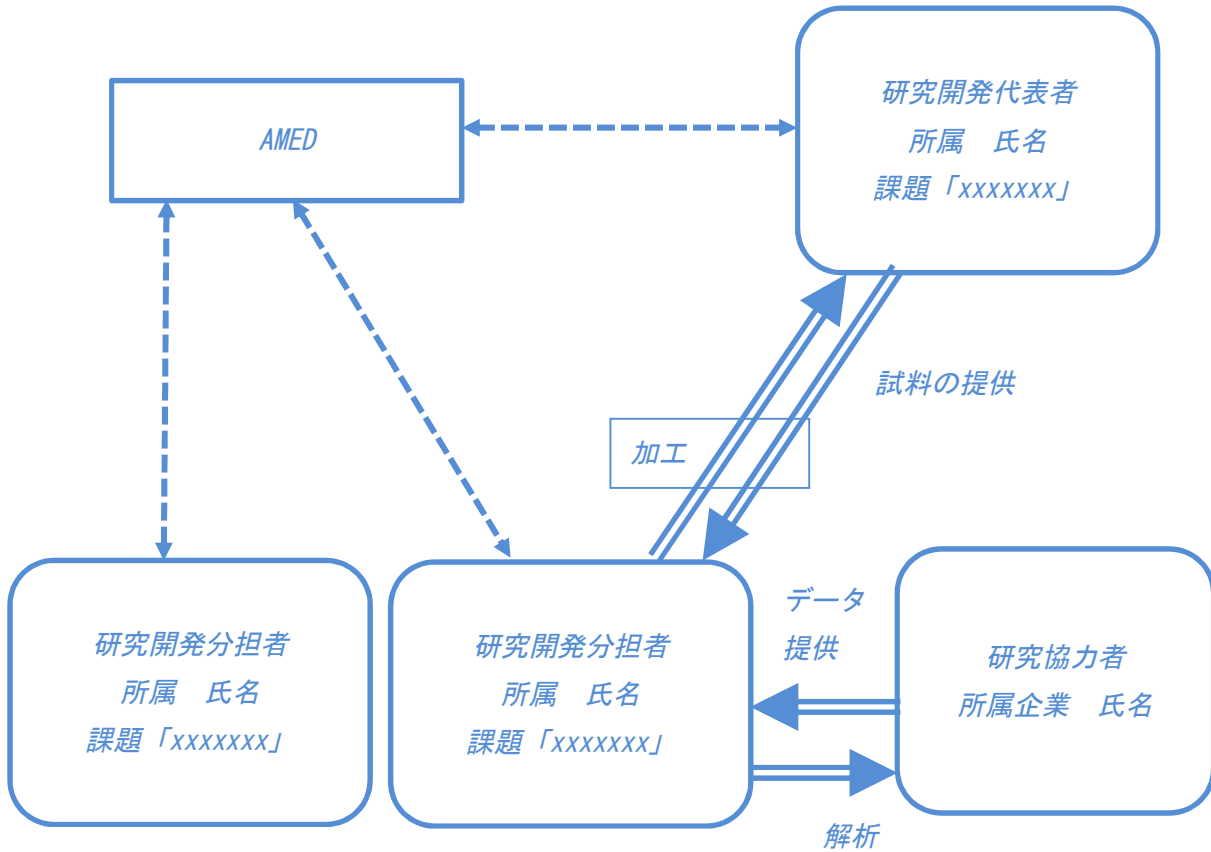
平成△年度：

平成□年度：

1.3. 体制図

代表機関、分担機関の組織、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載すること。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載すること。

【体制図記載例】



1 4. 倫理面への配慮

<p>・研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記入すること。</p>	
<p>遵守すべき研究に係る指針等 （研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当するものを全て「■」にすること。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 再生医療等の安全性の確保等に関する法律 <input type="checkbox"/> 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 <input checked="" type="checkbox"/> ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針 <input type="checkbox"/> 遺伝子治療臨床研究に関する指針 <input type="checkbox"/> 動物実験等の実施に関する基本指針 <input type="checkbox"/> その他の指針等(指針等の名称:) 	
疫学・生物統計学の専門家の関与の有無	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ・ その他 ()</p> <p>「有」の場合は、当該専門家の氏名、所属研究機関名、所属部局名、職名を以下に記入すること。</p> <p>(○○○○ ○○研究所 ○○部 ○○長)</p>
臨床研究登録予定の有無	<p>有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ・ その他 ()</p>

1 5. 知的財産権の帰属

■本研究開発の結果生じた知的財産権を、産業技術力強化法第19条第1項各号に規定する4項目を「国」をAMEDに読み替えて遵守すること、本研究開発結果に係る発明等を行ったときはAMED指定の様式に則った書面にて遅滞なくAMEDに報告すること及びAMEDが実施する知的財産権に関する調査に回答することを約することを条件として、全て本研究開発の受託者である自らに帰属させることを希望する。

1 6. 知財担当者（お問い合わせの際のご担当者様を記入してください。）

本研究成果に係る知的財産の管理担当者			
氏名	所属・役職名	E-mail アドレス	電話番号
○○ △△△	△△△	YYYYY@ZZZZ.com	XXX-XXX-XXXX

17. 研究開発提案者の研究歴等

<p>研究開発提案者の研究歴： 過去に所属した研究機関の履歴、主な共同研究者（又は指導を受けた研究者）、主な研究課題、これまでの研究実績、受賞歴、特許権等知的財産権の取得数、研究課題の実施を通じた政策提言数（寄与した指針又はガイドライン等）</p>	
<p>XXXX年 ○○○大学○○学部 ○□研究室（○△○○教授） XXXX年 ○○○病院 ○□診療科（○○△○）</p> <p><共同研究者> △○○○教授（○○○大学） △△○○室長（○○○医療センター研究所）</p> <p><主な研究課題> ○○○○○○○に関する研究 ○○○○○○○の開発</p> <p><研究実績></p> <p><受賞歴> <特許権等知的財産権の取得数> <研究課題の実施を通じた政策提言数></p>	<p>・水色の文字は消して、ご記入ください ・必要に応じて、枠を広げてください</p>
<p>発表業績等： 著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後のページ）、特許権等知的財産権の取得及び申請状況、研究課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）</p> <p>（発表業績等には、「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去5年間）を選択し、直近年度から順に記入すること。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「○」を付すこと。）</p>	
<p>・研究開発代表者 ○△ ○□ <論文・著書> ○M. Marusankaku, J. Aaaa, H. Bbbbbb, A. Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 1, 10-20, 2015 M. Marusankaku, T. Aaaa, A. Bbbbbb, T. Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2, 17-26, 2015 <特許権等知的財産権の取得及び申請状況> <政策提言> ○○○○○○○ガイドライン（○○学会編 XXXX年）</p> <p>・研究開発分担者 □□ ○○ <論文・著書> ○M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Hepatitis……, Nature, 12, 32-40, 2015 M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Malaria……, Nature, 10, 45-54, 2015</p>	<p>・水色の文字は消して、ご記入ください ・必要に応じて、枠を広げてください ・複数頁にわたる場合は、「18. 研究者育成について」が続く頁の先頭になるようにしてください</p>

18. 研究者育成について（①一般のみ記載。②若手は記載不要。）

基礎、臨床等の研究分野において、幹細胞・再生医学研究の人材ニーズに対応するための人材育成・活用に係る取組みについて500字以内で記載すること。

(This area is intentionally left blank for the applicant to provide details on their research and talent development initiatives.)

※ 本事業における若手研究者の登用を希望する場合には、下欄に若手研究者の候補者氏名、希望順位及び登用を希望する期間を記載すること。

若手研究者の候補者氏名	希望順位	若手研究者登用を希望する期間（研究開発実施期間を限度とする）
若手 太郎	1	平成28年4月1日～31年3月31日
Lisa Reddie	2	平成28年4月1日～30年9月30日

19. 研究に要する経費

(1) 各年度別経費内訳

(単位：千円)

大項目		中項目	H28年度	H29年度	H30年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費				
		消耗品費				
	2. 旅費	旅費				
	3. 人件費・謝金	人件費				
		謝金				
	4. その他	外注費				
その他						
間接経費（上記経費の30%以内）						
若手研究者登用費（間接経費を含む）						
合計						

(2) 機械器具の内訳（(1)の物品費のうち50万円以上の機械器具については、賃借が可能な場合は原則として賃借によること。）

ア. 借料及び損料によるもの（賃借による備品についてのみ記入すること）

年 度	機 械 器 具 名	賃 借 の 経 費 (単:円)	数 量
平成 年度			
平成 年度	・必要に応じて、枠を増やしてください		
平成 年度			

イ. 購入によるもの（50万円以上の機械器具であって、賃借によらないもののみ記入すること。）

年 度	機 械 器 具 名	単価（靴:千円）	数 量
平成 年度			
平成 年度	・必要に応じて、枠を増やしてください		
平成 年度			

(3) 外注費の内訳（(1)のその他のうち外注費について記入すること。）

(単位：千円)

年 度	外 注 内 容	外 注 先	外 注 費
平成 年度			
平成 年度	・必要に応じて、枠を増やしてください		
平成 年度			

20. 他の研究事業等への申請状況（当該年度）

（単位：千円）

新規・継続	研究事業名	研究課題名	代表・分担等	申請額	所管省庁等	エフォート(%)
新規	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発提案者について、実施中もしくは申請中の課題をご記入ください 必要に応じて、枠を増やしてください 他事業等に申請中の場合は、「新規・継続」欄に「申請中」とご記入ください 					
継続						
申請中						

21. 研究費補助等を受けた過去の実績（過去3年度分）

（単位：千円）

年 度	研究事業名	研究課題名	金 額	所管省庁等
H21～H25	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発提案者について、平成25年度～平成27年度に終了した課題についてご記入ください。 必要に応じて、枠を増やしてください 「年度」欄には実施期間について開始年度および終了年度をご記入ください 「金額」欄には全研究期間を通じて受けた支援総額をご記入ください 		総額	
H25～H27				

22. 補助金等に係る返済義務が生じたこと（借付（借付）の法律第179号）第18条第1項の規定により補助金等の返還が命じられた過去10年間の事業

（単位：円）

年 度	研究事業名	研究課題名	補助額	返還額・返還年度	返 還 理 由	所管省庁等
	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発提案者について、ご記入ください 必要に応じて、枠を増やしてください 					

・必要に応じて、頁を増やしてください

若手研究者候補者の現在の研究指導者			
氏名		職名	
所属機関			

若手研究者候補者の研究実績	
(「若手研究者候補者の研究実績」については、このページを含み3ページ以内で記載してください。)	
(1) 要旨	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #f4a460; padding: 10px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> • (1)～(3)のスペース配分は適宜変更してください </div>

(2) 最近3年間に学会誌等に発表した論文 (Publication List)

(博士の学位を有しない者であるときは、発表論文、研究歴等により採択の審査を行うので、詳細に記入してください。)

(3) 若手研究者として行う研究の計画

(研究開発代表者の研究課題との関連についても併せて記入してください。)

(別添様式2) ①一般において、若手研究者の登用を希望する場合にのみご提出ください。

若手研究者育成計画書

平成 年 月 日

※若手研究者を複数名登用希望する場合は、1名につき1枚の育成計画書を作成し提出してください。

1. 研究開発提案者

フリガナ 氏名	
研究開発提案課題名	
当該年度の計画経費	円(間接経費含む)
当該年度の研究事業 予定期間	平成 年 月 日から平成 年 月 日 ()年計画の()年目
所属研究機関・部局・職名	

2. 若手研究者採用候補者及び研究指導者

候補者氏名	研究指導者氏名	研究指導者の所属機関	研究指導者の 代表/分担の別

3. 若手研究者の登用に要する経費年度別内訳(若手研究者登用費内訳)

(単位:千円)

費目		平成 年度	平成 年度	平成 年度
直接経費	物品費			
	旅費			
	人件費			
	謝金			
	その他			
直接経費合計				
間接経費 (直接経費の30%以内)				
総計				

※若手研究者登用費：人件費（基本給、諸手当、社会保険料等の事業主負担分）、学会参加費、学会参加旅費、発表資料の作成に要する経費、研究環境の整備に要する消耗品費

※若手研究者の研究に要する経費は基本経費（研究開発の内容に係る経費）に計上してください。

※原則、若手研究者登用費のうち人件費は他の経費へ流用することはできません。

※若手研究者を直接雇用することができない国及び地方自治体の施設等機関等において若手研究者の登用を申請する場合は、日本医療研究開発機構において雇用手続きを行うため、1名当たりの経費は一律6,000千円を計上することとし、人件費に記載すること。

4. 若手研究者の育成計画

※若手研究者の育成・活用に係る取組みについて、A4 一枚で記載すること。
研究開発提案課題内での位置づけが分かるように記載すること。

1. 研究開発課題ににおいて、若手研究者に実施させる内容について記載ください。

※対応する研究開発項目が分かるように記載ください。

2. 本研究開発計画を通じて、どのような人材を育成できるのかについて記載ください。

5. 過去3年間の若手指導実績

受入年度	指導を受けた者の氏名	研究指導者氏名	研究指導者の所属機関	研究指導者の代表／分担の別
平成 年度				
平成 年度				
平成 年度				
平成 年度				
平成 年度				
平成 年度				